

南海トラフ地震における災害警備活動の強化

M8～9級 今後30年以内の発生率が70%程度にまで上昇

南海トラフ地震発生危険性の高まり

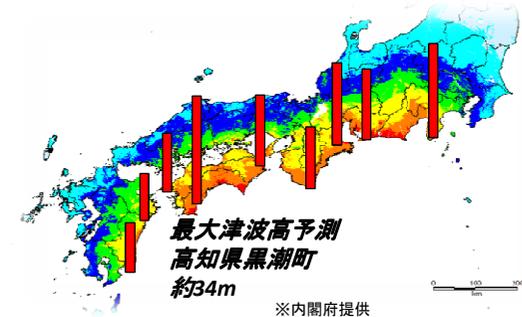


被害予測

- ◆ 全壊棟数 約 153,000棟 (揺れによる全壊 約80,000棟)
- ◆ 死者数 約 42,000人 (津波による死者数 約36,000人)
- ◆ 長期浸水面積 約 4,654ha (特に高知市では甚大な被害)

現在の高知県警察の取組

- 災害対処能力の強化(発生を見据えた各種訓練の実施)
- 地域防災力を高めるため施策推進(広報啓発活動等の実施)
- 南海トラフ地震対策関連予算の確保



対応策の加速化

政策提言

災害対策用車 両等の整備

- 水陸両用車、小型重機等
- 電磁波探査装置等
- 自起動式発動発電機等

- 警察の機動力の確保
- 災害警備活動の充実
- 災害に強い交通路の確保

警察官の増員

- 機動隊員
- 災害対策要員

- 救出救助活動の強化
- 他機関等との連携
- 地域密着活動の充実

